

JR常磐線佐貫駅駅名改称事業についてお知らせします

市では2020年春の実施を目標に、JR常磐線佐貫駅の「龍ヶ崎市駅」への改称事業に取り組んでいます。このたび、第2回市議会定例会において、関連する補正予算の議決を受け、JR東日本水戸支社と改称事業の施行に関する協定を締結の上、事業を進めていくこととしました。

協定書の内容など、駅名改称事業の詳細については、次号でお知らせします。



「撞舞(つくまい)」の練習がはじまりました!

—龍ヶ崎市の誇る民俗芸能「撞舞」—

約450年、地域の力により受け継がれてきた、龍ヶ崎市の夏の風物詩である国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」。

7月29日の本番に向けて、6月3日には市役所南側駐車場に練習用撞柱の設置が完了し、2人の舞男（谷本仁さん・大石浩二さん）が練習を開始しました。7月22日までの毎週日曜日午後6時ごろに練習を行います。

本番が迫り練習も回数を重ねると、舞男も気持ちが入って技に切れが増し、観ている方にも緊張感が伝わってきます。ぜひ、今年も練習からの応援をよろしくお願いいたします。

市議会議場でハーモニカコンサート

—「鈴木弘道 ハーモニカを奏でる」—



6月5日、龍ヶ崎市議会は市音楽協会との共催で、市民の皆さんに議会に関心を持っていただくことなどを目的に「議場コンサート」を開催し、当日はおおよそ130人が来場しました。

龍ヶ崎ハーモニカクラブ代表の鈴木弘道さんが曲ごとにハーモニカを変えながら、「パリのお嬢さん・ラ・セーヌ」「津軽のふるさと」「荒城の月」など5曲を演奏しました。来場者は午後のひと時、議場の空間に響く、懐かしく美しい音色を堪能しました。

龍ヶ崎市議会では、今後も議会を身近に感じていただけるよう「開かれた議会」を目指した取り組みを行っていきます。



—県境を超えた文化交流・活発な意見交換—

調布市文化協会との交流会を開催

5月27日、市文化協会と調布市文化協会（東京都）の交流会が開催されました。調布市からは、書道や舞踊などの団体から34人が参加し、実施している事業や経費などについて情報交換を行ったほか、活動への熱意や若い世代を増やしていくアイデアなど、共通の話題で活発に意見が交わされました。

交流会の最後には、龍ヶ崎市文化会館で交流会当日に最終日を迎えた「第13回龍ヶ崎市文化の祭典」の舞台や展示を鑑賞しました。

